

事業の背景・目的

野外での繁殖推進によってコウノトリの野外個体数を増加させ、国内各地に繁殖地を形成することでコウノトリの日本産個体群を復活させることを目指し、野外繁殖ペアが形成されている京都府京丹後市、徳島県鳴門市、及び福井県越前市・坂井市の各地域において、繁殖地を安定的に維持しながらコウノトリと共生する地域社会づくりを進めていくとともに、それらの活動をモデルとして今後国内各地にその活動を広げていくことを目的として、以下の事業を実施した。



事業の内容

コウノトリ繁殖地環境改善等事業

本事業の各活動地域において、以下のような繁殖地環境の改善に向けた活動を活性化させるための助言・支援を行う。

①巣づくりの安定化・継続化のための人工巣塔の設置のための助言

②傷病個体の負傷状況の把握、事故原因の調査、保護収容、死亡時の死因究明等のための助言・支援

また、本事業の各活動地域及び新たに営巣が確認された地域において、コウノトリの繁殖場所の安定的な維持を目的として、コウノトリの飛来場所及び営巣場所における監視モニタリングを実施するとともに、その結果を本事業計画に随時反映させ、最適化を図っていく。また、人とコウノトリの共生について地域住民に普及啓発するため、リーフレットを配布する。



綾部市内に新たに設置された人工巣塔

得られた成果

- ・人工巣塔の設置のための助言を石川県、京丹後市、綾部市（以上、京都府）、淡路市（兵庫県）等を実施した。
- ・今年度発生した傷病個体、死亡個体についての情報を集約するとともに、「コウノトリが死亡していた場合の対応マニュアル」「コウノトリを救護する場合の対応マニュアル」を作成し、IPPM-OWS加盟機関に配布した。
- ・死体発見時、傷病個体捕獲時に必要となる機材（傷病個体運搬用ボックス、傷病個体保定帯、死亡個体回収用ボックス）を作製し、IPPM-OWS加盟機関に配布した。
- ・コウノトリが巣作りをはじめた場合の対応についてまとめたリーフレットを作成し、関係機関（関係省庁、全国の都道府県の文化財主管部局及び自然保護主管部局等）に配布した。
- ・新たな繁殖地自治体等において、産卵日/孵化日観察用機材を設置し、繁殖状況の監視モニタリングを行った。



新たに作成したリーフレット